



こぶしの花だより

就任あいさつ

大牟田保養院 看護部長 高田 武司

令和3年4月より大牟田保養院の看護部長に就任いたしました高田です。

前病院を同年3月に定年退職後、看護学生時代に実習でお世話になった大牟田保養院での勤務に至った事は、何かの縁を感じます。

当院は、長い歴史の中で、講演会や宴の開催で地域の皆様と交流を深めています。地域に



溶け込み、信頼される病院づくりを目指し、職員一丸となり日々活動しているところです。

今年度も昨年に引き続き、新型コロナウイルスの影響で、「秋の宴」の開催が見送られました。コロナ禍が収束した暁には、各種行事が再開されると思います。

楽しみに待っていて下さい。

私も看護部長として微力ではありますが、地域住民の方々が、心豊かに暮らすことのできる社会づくりに貢献して行きたいと思いますので、宜しくお願い致します。



病院事務のご案内

当院には、外来受付と事務室にそれぞれ2名の医事担当職員が配置されています。

外来においては、主に初診や再診で病院を訪れる患者さんの対応や外来診療費の請求業務を行っています。また、患者さんなどからの電話問い合わせなどの対応も行っています。

事務室においては、入院に関する業務で、主に入退院の手続きや入院診療費の請求業務を行っています。入院の場合、外来よりも医療費が高額になる可能性が高く、限度額適用認定証など高額医療費免除のための申請方法や公費医療等の説明が重要となります。

また、医事担当は、1か月分の患者さんの診療費をレセプトといわれる診療報酬明細書にまとめ、関係機関へ提出しています。患者さんの保険が社会保険と国民健康保険では、計算方法も提出先も異なります。レセプト作成の際には、請求に誤りのないように診療報酬の算定漏れなどのチェックを行いますが、これは病院経営において心臓部となる業務です。

当院事務スタッフ一同、患者さんやご家族と接することが多いため、窓口でのスムーズで丁寧な対応に日々努めています。

限度額適用認定証を申請しましょう！

入院等で医療費が高額となりそうな場合、事前に限度額適用認定証の交付申請を行きましょう。

そうすることで、医療機関でのお支払いが自己負担限度額までとなり、患者さんの窓口での金銭的負担が軽減されます。

なお、同証の限度額区分は所得状況により決定されます。

※詳しくは、お気軽に入院医事までお尋ねください。





精神保健福祉士が答える Q&A コーナー

Q 精神保健福祉士って何？

A) 精神保健福祉士は、主に精神科のソーシャルワーカー（PSW）のことを指しますが、精神科病院以外でも活躍の場は広がっています。地域生活を支援する目的で相談や生活訓練を行ったり、当事者の方の就労を支援したりします。

また、精神保健福祉センターや保健所などでは、市民のメンタルヘルス啓発活動に携わることもあります。

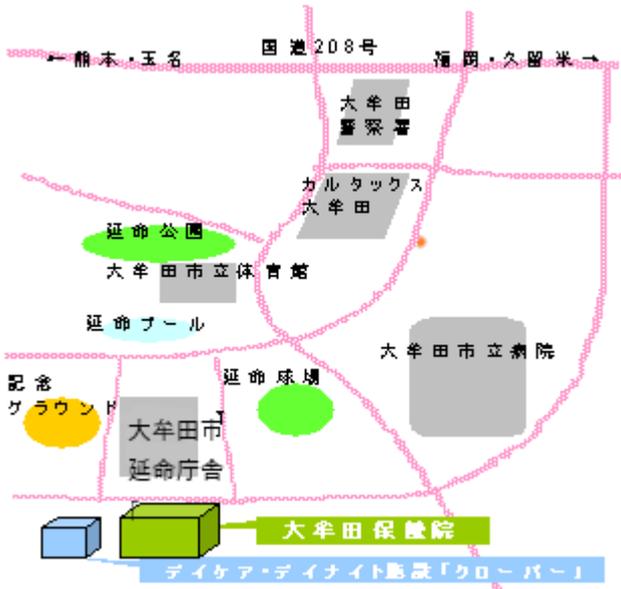


Q どんな仕事をしているの？

A) 大牟田保養院での主な仕事は、精神障害のある人や家族、メンタルヘルスの課題をかかえる人など「人を支えること」です。入院から退院までの様々な相談に応じ、日常生活を送るための援助を行います。家族や関係機関との連絡・調整を行って、社会参加ができるよう支援致します。

また外来では、利用できる福祉サービスの説明や自立支援医療制度（医療費負担が1割に減額される制度）や精神障害者保健福祉手帳の申請更新の手続きをお手伝い致します。その他、訪問看護・作業療法や当院が開催するイベントに参加し、皆様との日頃からの関係性づくりに配慮し、より悩みや困り事を相談しやすい環境づくりに努めています。

当院には現在6名の精神保健福祉士が在籍し、上記の業務を行っています。何かご相談事などございましたら、ご遠慮なくご相談下さい。



* 西鉄バスで大牟田市立病院下車し、徒歩で約5分。
 * JR、西鉄「大牟田駅」より徒歩で約15分。車で約5分。

信和会関連施設

大牟田保養院 (精神科・心療内科・老年精神科・内科)

認知症治療病棟 けやき

精神科訪問看護

精神科デイケア・デイナイトケア施設 クローバー

介護老人保健施設 はなぞの

居宅介護支援事業所 はなぞの

訪問介護事業所 はなぞの

訪問看護ステーション はなぞの

通所リハビリテーション はなぞの

訪問リハビリテーション はなぞの

小規模多機能型居宅介護 花ごよみ

介護予防拠点地域交流施設 いこい

	精神科	内科
月	村田・犬塚・藤井	-
火	蓮澤・藤井	久保田
水	村田・三野原	久保田
木	蓮澤・村田・藤井	-
金	犬塚・藤井・千葉	久保田
土	(大学より)	久保田

※初めて受診される方は、事前に当院外来までお電話下さい。
 (受付時間、診療時間、その他各種検査の実施日は、曜日によって異なります。☎0944-52-3012)

大牟田保養院理念

「私たちは、医療の質の向上と信頼される病院づくりを目指しています」

—7つの基本方針—

1. 誠実、共感、信頼を基本に、心の通うあたたかい病院を目指します。
2. 地域住民の「こころの健康」を守ることに、心豊かに安心して暮らすことのできる社会づくりに貢献します。
3. 高い技術力と高品質の医療を提供します。
4. わかりやすい説明と同意のもと、安全で効率的な医療を提供します。
5. 関係機関との連携を深め、地域医療の向上に努めます。
6. 職員の教育・研修を積極的に行い、資質の向上に努めます。
7. 職員が十分に能力を発揮でき、充実した人生が送れる職場環境づくりに努めます。

—7つの行動指針—

1. 患者さんの喜びを自分の喜びとします。
2. 患者さんの問題を自分のものとして受け止め、真摯に対応します。
3. 地域の方に支えられてこそ、病院が存続すると考えます。
4. 患者さんのプライバシーとセキュリティを守ります。
5. 清潔さを保ち、安全で事故のない環境を築きます。
6. 新しいことへチャレンジし、仕事を通して自分を高めます。
7. 絶えず学び、成長し続けます。

編集後記

「80歳になっても歯を20本以上残しましょう」という《8020運動》をご存じでしょうか？最近の研究では、歯が多く残っている人は、そうでない人に比べて、認知症の発症や転倒する危険性が低いということが次第にわかってきています。例えば歯が19本以下の人は、認知症の発症リスクが約1.2倍、転倒するリスクは約2.5倍になるという結果が出ています。つまり歯を大切にすることで、介護につながりやすい疾患を予防し、健康寿命が延びる可能性があります。とは言え、いつまでも自分の口から美味しい物を食べられるようにしたいものですね。(広報委員)